



高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～

教科担当者：

使用教科書：（新編言語文化 大修館書店）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたって社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力をすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ事故を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語・聞	書	読					
1 学期	ことばと出会う 日本で受け継がれてきた自然観や美意識について、筆者の主張をとらえる。 季節に興味を持ち、日本独自の自然の味わい方への自分の考え方を深める。 積極的に辞書を引き、語彙を増やす。 国語常識 定期考査	黛まどか「季節の言葉と出会う」  辞書を引いて言葉の意味や使い分けなどに興味を持つ。  漢字読み書き（漢検6級程度）	○	○	○	随筆の読解を通して理解した内容をもとに日本人の自然の味わい方について考えることができる。 季節や自然を表す日本語の表現を知り、豊かさに気付くことができる。  辞書を引いて言葉の意味を知り、使い方を知る。 基礎的な語彙が身に付いている。	○	○	○	13
	古文に親しむ 文語・歴史的仮名遣い・いろは歌・五十音図  古文を読んで、誰の発言かに注意し、物語の内容を読み取る。 漢字の読みと日本の言語文化についての理解を深める。 国語常識 基礎的な語彙を身に付ける。 定期考査	ことのは7 「古文の言葉と仮名遣い」 古文に親しむ 宇治拾遺物語『十二の「子」文字』  漢字読み書き（漢検6級程度）  辞書を引いて言葉の意味や使い分けなどに興味を持つ。	○	○	○	時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 「読むこと」において作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え作品を解釈している。 会話文の主語を理解した上で内容を把握している。 「子」の多様な読みと、十二支について辞書で調べ、常識として身に付けている。 古文を読むことに興味を持ち、積極的に音読し響きやリズムを味わおうとしている。  辞書を引いて言葉の意味を知り、使い方をすることができる。 基礎的な語彙が身に付いている。	○	○	○	13
	語りの役割や場面の展開に着目しながら、物語のおもしろさを読み味わう。 登場人物の心情の変化を読み取る。 元になった古典作品との比較をふまえて、内容の解釈を深める。 国語常識 基礎的な語彙を身に付ける 定期考査	表現を味わう 村上春樹「鏡」 物語を受け継ぐ 芥川龍之介「羅生門」  漢字読み書き（漢検5級程度） 辞書を引いて言葉の意味や使い分けなどに興味を持つ。	○	○	○	我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に捉えることができる。また、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 読書に興味を持ち、作品の構造や語り手の視点を意識しながら作品を味わおうとしている。 辞書を引いて言葉の意味を知り、使い方をすることができる。 基礎的な語彙が身に付いている。	○	○	○	13
2 学期	音読して古文の読みに慣れ、文章の特色を理解する。 作者のものの方や感じ方を知り、自分の考えを持つ。 和歌に表れた心情を読み取り、本文中の和歌の果たした役割を考える。 国語常識 基礎的な語彙を身に付ける。 定期考査	随筆を楽しむ 清少納言『枕草子』「にくきもの」 物語の広がり 『伊勢物語』「東下り」 漢字読み書き（漢検5級程度） 辞書を引いて言葉の意味や使い分けなどに興味を持つ。 百人一首	○	○	○	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現、和歌の技法などについて理解している。 「読むこと」において作品や文章に表れているものの方や感じ方、考え方を捉え、内容を理解し周囲と話し合うことができる。 辞書を引いて言葉の意味を知り、使い方をすることができる。 基礎的な語彙が身に付いている。 和歌の歌に興味を持っている。	○	○	○	13
	漢文の訓読のきまりについて理解する。 漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める。 故事成語について理解し、その背景となるエピソードを知る。 国語常識 基礎的な語彙を身に付ける。 定期考査	漢文に親しむ 訓読のきまり  現代に生きることは 「蛇足」 漢字読み書き（漢検5級程度）	○	○	○	我が国の言語文化の特質や我が国文化と外国の文化との関係について理解している。 日本語との語順の違いを正確に理解し、その違いを意識しながら音読でき、書き下し文が書ける。 辞書を引いて言葉の意味を知り、使い方をすることができる。 基礎的な語彙が身に付いている。	○	○	○	13
										1
										合計
										70

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	国語	科 目	現代文 A ( 2 単位)
対 象	第 3 学年		
教 科 書	第一学習社 「改訂版 新編現代文 A」		
副教材その他	明治書院 「ポイント整理 ブラッシュアップ 常用漢字 漢検対応 三訂版」		
目 標	言葉に興味を持ち、自ら辞書を引き文章を読み取ろうとする態度の育成。 語彙力の養成。 基礎的な読解力を身に付け、文章を正しく読み取り、視野を広げる。		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 4	2年生までの復習 詩を味わう 国語常識	国語常識等の確認 吉野弘「生命は」ほか 漢字（漢検4級程度）
	1 4	小説を読む(一) 国語常識	江國香織「デューク」 漢字（漢検4級程度）
2	1 4	言語と文化 国語常識	阿刀田高「犬も歩けば棒にあたる」 漢字（漢検3級程度）、ことわざ・慣用句
	1 4	小説を読む(二) 国語常識	井上ひさし「ナイン」 漢字（漢検3級程度）、百人一首
3	1 4	言語活動 人間と文化 国語の基礎	創作の楽しみ・短歌と俳句 平田オリザ「コミュニケーションの文化」 漢字（漢検準2級程度）

評 価	1、国語常識が身に付いている。 2、言葉に興味を持ち、自ら辞書を引くなどして言葉を獲得しようという態度を持つ。 3、文章を正しく読み取り、扱われている問題を自身に引き寄せ、視野を広げることができる。 4、文学的な文章を深く読み込み、味わうことができる。
-----	---

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	国語	科 目	現代文 A ( 2 単位)
対 象	第 4 学年		
教 科 書	第一学習社 「改訂版 新編現代文 A」		
副教材その他	明治書院 「ポイント整理 ブラッシュアップ 常用漢字 漢検対応 三訂版」		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各々の進路実現に必要な国語常識を身に付け、言葉に対する感性を磨く。</li> <li>・文章を正しく読み取り、視野を広げると共に扱われている内容を自身の問題として捉え、自分なりの見解を持つ。</li> </ul>		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 4	小説を読む (二) 国語常識	井上ひさし「ナイン」 重要語の読み
	1 4	社会と文化 国語常識	千松信也「クマを変えてしまう人間」 重要語の読み・故事成語・慣用句
2	1 4	小説を読む (五) 国語常識	米原万里「バグダッドの靴磨き」 故事成語・慣用句
	1 4	人間と社会 国語常識	森本哲郎「経験の教えについて」 故事成語・ことわざ・重要漢字の書き取り
3	1 4	小説を読む(六) 国語常識	中島敦「山月記」 1年間の総復習

評 価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、中学校・高等学校迄で学習する国語常識が身に付いている。</li> <li>2、文章を正しく読み取った上で、書かれている内容を自分に引きつけて考えることができる。</li> <li>3、近代文学を深く読み味わうことができる。</li> </ol>
-----	---

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	国語	科 目	総合選択国語表現 (2単位)
対 象	第4学年		
教 科 書	教育出版「国語表現」改訂版		
副教材その他	自作プリント		
目 標	選択者個々の実力、進路希望に応じた、読む、書く、話す力の向上。		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 4	コミュニケーションのために 文章表現の基礎	ウォームアップ 「表記の仕方」 「語句の用法を文のくぎり方」
	1 4	文章表現の基礎	「文章のリフォーム」 「わかりやすい説明の方法」
2	1 4	小論文 I	「意見を論理的に述べる」 「セルフディベート」 「文章の『型』」、「構成ノート」
	1 4	小論文 I メディア・リテラシー	「テーマ型小論文の実際」 メディアの特性を知る 広告というメディアを読む
3	1 4	言葉を届ける	「電子メール」 「電話とメモ」 「手紙」

評 価	1. 日本語の表現について関心を持ち、基礎知識を持つ。 2. 自分の意見を、根拠を明確にして述べることができる。 3. メディアの特性を理解し、メディアに対して意識的に関わるができる。
-----	--

